

RMO 平成 28 年熊本地震報告会
熊本地震災害復興を検証する
～罹災証明に関わる諸問題を中心に～

4月14日 9時26分に発生した熊本地震は、震度7の激震であった。この地震の2日後の16日の夜中1時23分に再び震度7の激震が襲った。これが本震で14日の地震は前震であると報道された。立て続けに激震におそわれた。地震による被害は拡大した。被災者は、いつまた大きな地震が来るか不安で家の中に入れず、いつもよりは長い期間、「軒先や車の中で避難の日々」を暮していた。余震が落ち着きを見せ、被災者は速やかに復興に向け一歩を踏み出したところであったが、公的機関からの罹災証明が滞り、取り壊しもままならぬ期間がしばらく続く。この間被災者からの不満が、報道されるほどであった。他方、民間の保険会社では、ドローンを飛ばし被害程度を査定し速やかに事務処理を行ったと聞く。被災者にとってみれば、さまざまな形で用意されている資金をかき集め、復興への一歩を踏み出したいところである。

この間、様々な専門家が被災地に赴き、被災者の声に耳を傾け、日常を取り戻すための支援活動に参画している。今回、様々な立場で支援活動に参画した専門家にお集まりいただき、罹災証明の在り方を検証し復興への道筋を考える会を企画しました。

日 時：2016年10月31日（月）18：00～21：00
会 場：JIA 館1階建築家クラブ（東京都渋谷区神宮前2-3-18）
報告会：18：45～20：15（90分）
参加費：無料
懇親会：20：15～21：00（45分）¥500

- 進行：根上彰生（RMO 副代表理事）
- 報告
 - ・ 建築家：岡部則之（JIA 災害対策全国会議議長）
 - ・ 弁護士：中野明安（RMO 副代表理事、第2東京弁護士会）
 - ・ 不動産鑑定士：佐藤麗司朗（東京都不動産鑑定士協会）
 - ・ 技術士：上野雄一（日本技術士会）
- ディスカッション
コーディネーター：中田準一（RMO 機構長 代表理事）
「熊本地震の支援活動から見えてきた課題」

主 催：一般社団法人災害総合支援機構（RMO）

Relief, Recovery and Reconstruction Management Organization

後 援（予定）：災害復興まちづくり支援機構

申込み：E-mail：miyajima@rmo.or.jp

FAX： 03-3829-0147

